

ひまわり



令和元年8月30日(金)

ソーラン



昨日は久しぶりの秋雨の中休み。3年生が体育大会のトリを飾る「ソーラン」の練習をしていました。そのようすを見て、感じたことを書きます。

まず感じたのは、先生の指導をととても素直に受けているということです。「素直な心」、これは何をするにしても、とても大切な心です。素直な心で学び、学んだことを実践すれば、必ず大きな成果に結びつきます。経営の神様と呼ばれた

Panasonicの創業者、故松下幸之助氏は「素直な心」をととても大切にしました。それが、収益8兆円企業となる原動力の一つであったと考えます。

次に、一人一人が真剣に取り組もうとしていると感じました。練習を始めてまだ日は浅いので、まだまだ全体の動きが揃っていないとは言えません。しかし、皆さんが「ソーラン」に真剣に向き合う姿勢には、これからの大きな飛躍を期待させてくれます。同じく、松下幸之助氏は次の言葉も残しています。「失敗することを恐れるよりも、真剣でないことを恐れない」皆さんの真剣さは、必ず成功に結びつきます。

最後に3年生の皆さんに考えてほしいことがあります。それは、体育大会で「ソーラン」を踊る意義です。それぞれの考えは違うかもしれませんが、私の考えを伝えておきます。

- ・「ソーラン」を踊ること自体が目的ではない。
- ・心を合わせ踊ることで、一人一人が成長するとともに、集団としてより成熟する。
- ・「ソーラン」を通じて、仲間を強く意識し、思いやりと支え合いの中で絆を深める。
- ・個人と集団の限界を打ち破り、新しい価値を創造する。

一人一人が「ソーラン」への熱い思いを持ち、これからますます鍛錬すれば、体育大会当日は感動の嵐が吹き荒れるでしょう。皆さんなら、それができると確信した昨日の練習風景でした。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>